

A班～C班の三つの測量作業班が同一の水平角を測定し、それぞれの測定回数と測定値は表のような結果であった。この水平角の最確値はいくらか。

	測定回数	測定値
A班	3回	121° 33′ 30″
B班	2回	121° 33′ 27″
C班	4回	121° 33′ 36″

1. 121° 33′ 30″
2. 121° 33′ 31″
3. 121° 33′ 32″
4. 121° 33′ 33″
5. 121° 33′ 34″

コンクリートの施工に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. コンクリートを打ち込むときの、吐出口から打込み面までの落下高さは、5m以下を標準とする。
2. コンクリートを層状に打ち重ねる場合、締固めのための棒状バイブレータを下層のコンクリート中に挿入してはならない。
3. コンクリートを練り混ぜてから打ち終わるまでの時間は、外気温が25℃以下のときで2時間以内、25℃を超えるときで4時間以内を標準とする。
4. 通常コンクリート工事における標準の湿潤養生期間は、現場の日平均気温や、セメントの種類にかかわらず一定である。
5. 既設コンクリートに新しいコンクリートを打ち継ぐ場合、打継面のレイタンス等を除去し、コンクリート表面を粗にした後、十分に吸水させる。